

令和5年3月1日発行

倉吉市議会だより

# 白壁

## 12月定例会

この議会だよりでは、議員本人が執筆(要約)したものを基に掲載しています。



### 今号の内容

- 市民の声・3月定例会・編集後記：16
- 議案等の議決結果：14～15
- 常任委員会・特別委員会：12～13
- 新校名は『成徳小学校』に決定：10～11
- 議案に対する質疑：8～9
- 市政に対する一般質問：2～7



～ 美ら島おきなわ文化祭2022「太鼓の祭典」打吹童子ばやし出演 ～

打吹童子ばやしは、天女(母)を想い、童子(子どもたち)が笛太鼓を奏でた「打吹天女の伝説」を「心のふるさと」として伝承していこうと創設されて31年になります。



# No. 24



# 【市政に対する一般質問】

## 【一般質問とは？】

年4回の定例会で行うことができます。議員が、市の事務の執行状況や今後の方針などについての報告や説明を市長や執行機関の長に求め、適切な市政運営が行われているかを質すものです。倉吉市議会では、基本的に1人あたりの質問時間は25分です。

会派名	議員名	発言通告要旨
く ら よ し	大月 悦子	「日本女性会議2022 in 鳥取くらよし」について
		◎ 倉吉市犯罪被害者等基本条例制定について
		市街地の活性化と景観について
	大津 昌克	◎ 付属機関と私的諮問機関について
		小学校適正配置について
		令和5年度当初予算編成方針の考え方について
	藤井 隆弘	旧グリーンスコレセきがねの進捗について
		◎ 学校の適正配置について
	丸田 克孝	◎ 「住みたい、行きたい、帰りたいまちくらよし」について
		◎ 竹林整備後の維持管理について
◎ 市有財産の維持管理について		
こ こ ろ	田村 閑美	◎ 観光客誘致の政策について
		◎ 女性のための困窮、困り事支援について
		◎ 「市立保育園」「義務教育学校」再編、統合について
		◎ リス舎周辺、交流プラザ周辺整備について

◎印のついた質問は、次頁以降に記載しています。

## 一般質問通告一覧表より

### 【通告とは？】

本会議で発言しようとする議員は、あらかじめ議長に対して質問する項目を明らかにするために、文書で通告を行います。この文書を「質問通告書」と言います。

なお、この通告一覧表は定例会開会日のおおむね2週間前に倉吉市ホームページに掲載されています。

定例会の一般質問  
発言通告表



会派名	議員名	発言通告要旨
公 明 党 ・ 改 革 新 政 会 市 議 団	鳥羽 昌明	◎ 成徳・灘手小学校統廃合について
		◎ 带状疱疹ワクチン接種助成について
		◎ 今後の物価高騰対策支援について
	福井 康夫	◎ 新型コロナ感染症対策について
		◎ 農業政策について
		◎ 今年の除雪体制の現状について
	笠原 晶子	◎ 日本女性会議2022 in 鳥取くらよしについて
		◎ 包括的性教育について
		◎ パートナーシップ制度について
	鳥飼 幹男	◎ 車内置き去り対策について
◎ ICT活用推進計画について		
◎ 成徳小学校・灘手小学校統合について		
山根 健資	◎ 消費税の適格請求書等保存方式(インボイス制度)について	
	◎ 災害時の避難所のトイレ整備について	
	◎ 市民サービスの向上について	
さ き が け	福井 典子	◎ 「至誠小学校」の開校について
		◎ 虹ヶ丘町の迂回路と上余戸中央線拡幅について
		◎ 除雪対策の準備について
米田 勝彦	◎ 教職員のセクシュアルハラスメントについて	
	◎ 「日本女性会議」の総括と今後の取組みについて	
	◎ 企業版ふるさと納税による人材育成事業の経過(9月以降)について	
朝日 等治	◎ 倉吉市地域包括ケア推進計画による取組みと課題について	
	◎ 子育て支援について	
	◎ 企業支援について (1)行政の責務 (2)女性就労の支援	
日 本 共 産 党	佐藤 博英	◎ 市民目線の行政について (1)市民の行政参画 (2)予算の編成方針
		◎ フリースクールに対する支援について
		◎ 農業インフラの整備について
		◎ 生活困窮者への支援について
		◎ がん検診の状況について
		◎ 補聴器への助成について
		◎ 中小企業、農業を営む個人事業者支援について



# — 市政のここが聞きたい —

令和4年12月第8回倉吉市議会定例会が、令和4年12月5日(月)から12月22日(木)まで開催されました。

会議録(質問・答弁など)は市立図書館でご覧になれます。

市議会会議録検索システムは、倉吉市ホームページからご利用できます。

市議会会議録  
検索システム

※議員本人が執筆(要約)したものを基に掲載しています。  
掲載は、質問順です(頁ごと、上から)。



## ■倉吉市犯罪被害者等基本条例制定について

**問** 犯罪被害に遭う人は特別な人ではなく、平穏な暮らしの中で、犯罪は突然起きるのです。事件に巻き込まれた人や家族の相談窓口は。

**答** 倉吉市では防災安全課・人権政策課。県内においてはとっとり被害者支援センターがあります。

**問** 被害者にとって頼ることができる最も身近な、市町村の果たす役割は大きい。条例化が必要と考えるが。

**答** 被害者等に寄り添える社会をつくることは重要。基本理念を定め、市及び市民の責務を明らかにする、総合的に被害者等を支援する条例制定について、前向きに取り組んでまいりたい。



おおつき えつこ  
大月 悦子  
Otsuki Etsuko



## ■付属機関と私的諮問機関について

**問** 要綱で設置された私的諮問機関とは何か。

**答** 市長や執行機関が政策判断をするときに意見を伺う一時的な場である。

**問** 多くの裁判で要綱設置機関の違法解釈判例が出ている。鳥取県が平成25年に付属機関条例を制定し整理したように、倉吉市も検討するべきではないか。

**答** 現状を研究・検討してみたい。  
**問** 要綱で多数決の定めがある機関があるが、可否同数時、議長の二重表決を認めているのか。

**答** ご指摘の部分がどれか承知していませんが、あらためて要綱を確認し、曖昧さがある部分については是正なり対応をしていきたい。



おおつ まさかつ  
大津 昌克  
Otsu Masakatsu



■学校の適正配置について  
■「住みたい、行きたい、帰りたいまち  
くらし」について

問 学校の適正配置の現状について問う。

答 小鴨小と上小鴨小の統合は、令和6年4月。校舎、校名、校歌は現小鴨小小学校のものを活用。北谷小と高城小も令和6年4月統合予定。校舎は高城小を活用。成徳小、灘手小統合後の明倫小統合時期は複式学級が将来的に見込まれることが一つの目安となる。

問 空き家の利活用と人口流出を防止するための施策は。

答 空き家バンク活用や、ホームページの支援制度掲載等で市内に住んでいたただけるようにしたい。制度の見直しも指示し、空き家対策を充実させたい。他の自治体の支援制度等も研究しながら人口流出防止に努めたい。



ふじい たかひろ  
藤井 隆弘  
Fujii Takahiro



■竹林整備後の維持管理について  
■市有財産の維持管理について

問 市場城跡の竹林整備後の維持管理は急斜面の為、地元では大変な作業となる。行政側で対応できないか。

答 竹林整備後は5年間、地権者と地元で維持管理すると契約しているので、地元側で対応してほしい。また、史跡等を守る団体等に対応してほしい。保護団体ができれば協力はできると思う。

問 現状と1億円の土地はどのくらいか。

答 令和3年度から10年間の期間で進める。上灘保育園跡地は売却も可能となる。34年放置された1億円の「青少年の森」は、地元の方で管理しているが、利用計画を立てなければ、道路の整備も含めることはできない。



まる た かつたか  
丸田 克孝  
Maruta Katsutaka



■女性のための困窮、困り事支援について  
■「市立保育園」「義務教育学校」再編、統合について  
■リス舎周辺、交流プラザ周辺整備について

問 本市の生理用品支援の再開を望む。

答 生理用品の配布は、考えていないが、女性等の困り事対応は引き続きしたい。

問 西部エリアの保育園再編と義務教育学校統合について。

答 保育園の老朽化に伴い早期に原案を進めたい。高城、北谷、社小は久米中を含めた義務教育学校の設置を検討したが、まずは高城小を活用し、北谷小と令和6年4月統合開校を目指す。

問 リス舎、交流プラザ周辺整備にて象徴的な物での経済効果を生んではどうか。

答 現時点では検討していない。



たむら しずみ  
田村 閑美  
Tamura Shizumi



### ■成徳・灘手小学校統廃合について

**問** 統廃合の第一の目的は何か。

**答** 子どもたちが、望ましい環境で望ましい成長をし、生きる力を培う事。一定の児童数の確保により、例えば人間関係の広がり、多様な発言の引き出し、学校や学級の活性化など様々な有効性が期待できる。

**問** 新統廃校が目指す特色は何か。

**答** 成徳小が伝統的に取り組んできた花運動や打吹山のクロスカントリー大会、灘手小の自然体験活動や農業体験活動など、両校の特色が融合した新たな取組が期待できる。また0歳から15歳までを視野に入れた教育プロジェクトを計画している。新たな学校の特色にしていきたい。

公・新

とば まさあき  
鳥羽 昌明



### ■農業政策について

#### ■今年の除雪体制の現状について

**問** 農業・肥料高騰対策の状況は。

**答** 9月の追加補正で2,230万円を予算措置。現在、申請額は936万円余りで、半分に満たない状況。春肥分がこれから申請受付で、秋に比べて大幅に増加するのではないかと思っている。

**問** 今年の除雪体制は。

**答** 現有除雪能力と除雪協力業者は本年度から25社、45台と増加した。加えて直営6台の体制もあり。本年度より小型除雪機械購入事業費補助金を創設したり、地域除雪作業報奨金制度も拡充した。協働型ボランティア促進事業の活用をお願いしたい。

公・新

ふくい やすお  
福井 康夫



### ■包括的性教育について

#### ■ICT活用推進計画について

**問** 性教育、人権教育、子どもたちが幸せに生きていくための力を育むために、まずは保育士の先生方が国際基準としての「国際セクシユアリティ教育ガイドランス(改訂版)」を研究してはどうか。

**答** 改定された内容や追加された内容等については研修を深めて引き続き包括的性教育推進なり人権意識の向上等に努めてまいりたい。文部科学省による審議や提言のつとめ、まず私自身(教育長)がもう少し詳しく勉強に取り組みたい。

**問** ミニコルターの進捗状況は。

**答** ミニ環境の整備のための初期費用補助制度を令和5年度の当初予算に向けて準備を検討している。

公・新

じくはら しょうこ  
竺原 晶子



- 消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）について
- 災害時の避難所のトイレ整備について
- 市民サービスの向上について



としかい みきお  
鳥飼 幹男  
Torikai Mikio

公・新

**問** 消費税の軽減税率に伴い、インボイス制度が導入される。特に免税事業者は大きな影響を受ける可能性があるが、準備が進んでいない。広報・周知は。

**答** 小規模事業者に情報が届いていない。周知に努める。

**問** 災害時の避難所のトイレ環境は被災者の健康被害防止に重要。水洗トイレに近い環境を確保できる災害用マシントイレの整備を進めるべき。

**答** 有効なものであるかどうか研究をしたい。

**問** 遺族の市役所での手続きは多岐にわたり負担が大きい。サポート窓口の考えは。

**答** おくやみガイドブックを作成した。システムの導入も進め、遺族の負担軽減に努める。

- 「至誠小学校」の開校について
- 虹ヶ丘町の迂回路と上余戸中央線拡幅について
- 教職員のセクシユアルハラスメントについて



やまね けんし  
山根 健資  
Yamane Kenshi

さ

**問** 統合を来年度の4月に間に合わせなければならぬ理由と校名変更で影響を及ぼすものは。

**答** 様々な準備、調整が進んでいる状況であり、後戻りが出来ない。

校章や校歌等に係る物の作成や手続きが間に合わないものがある。

**問** 待避所だとわかるように標識を作り、設置することは可能か。

**答** 注意喚起も含めた標識の設置について計画したい。

**問** 教職員のセクシユアルハラスメントの研修回数とその内容は。

**答** すべての学校が2回以上は実施。内容は、セクシユアルハラスメントを含むコンプライアンスに係るもの。

- 倉吉市地域包括ケア推進計画による取組みと課題について
- 子育て支援について



ふくい のりこ  
福井 典子  
Fukui Noriko

さ

**問** 高齢者が生きがいを持ち健康やかに自分らしく安心して暮らす為の取組と現状課題は。

**答** 倉吉市地域包括ケア推進計画に沿って高齢者が活躍できる場作りの介護予防の充実、在宅生活支援などに取り組んでいる。

**問** コロナ感染拡大時の保護者への支援は。

**答** クラスターを避ける為、早期対応として長期救援にならないよう、配慮。

**問** こども家庭庁発足により市の体制は。

**答** 子育て世帯包括支援センター機能を核として教育委員会と引き続き連携をとり、児童福祉法の改正内容に沿って地域に合った必要な支援を行っていく。



- 行政の責務
- 女性就労の支援
- 市民の行政参画
- 予算の編成方針



よねだ かつひこ  
米田 勝彦  
Yoneda Katsuhiko

さ

**問** 市内の商工事業所の状況を把握するため訪問しているか。

**答** 可能な限り現場の声を聞き現場主義の徹底に努めたい。

**問** 子育て支援が就労に繋がる。どのような支援をしているか。

**答** 市の重点施策に位置づけて出産手当、保育料等に経済的支援を展開している。

**問** 委員会や会議の参加者をくじ引きで選ぶ方法がある。取り組んではどうか。

**答** 多くの市民の意見を聞ける取組として、参考になる。

**問** 積極的に現場に出向くところ。確認はするのか。

**答** 実際に現場に出向いたか、の資料は、求めている。

- フリースクールに対する支援について
- 農業インフラの整備について



あさひ とうじ  
朝日 等治  
Asahi Tohji

さ

**問** 自然がっこう旅をする木の保護者にも、通所費等の支援をされないか。

**答** 国県のガイドラインと通知を点検し、どんな支援ができるか考える。

**問** 自然がっこう旅をする木が行う学びを、義務教育課程として保証されないか。

**答** 県教委の出席の扱いが考えられる学校外の施設として指定される方法を運営者と協議し見出す。

**問** 老朽化し損傷が顕著な農業用水路について、高齢化が進行する農村の実態に鑑み修繕計画を策定されないか。

**答** 農業用水路の実態は土地改良区と共有しているが、原材料支給制度を有効に活用したい、たくよう周知に努める。

- 生活困窮者への支援について
- がん検診の状況について
- 補聴器への助成について
- 中小企業、農業を営む個人事業者支援について



さと うひろひで  
佐藤 博英  
Sato Hirohide

共

**問** 生理用品を琴浦町や湯梨浜町は学校トイレに備えている。倉吉市もできないか。

**答** もう少し時間をかけて考えたい。

**問** 学校給食を無償化できないか。

**答** 無償化すると毎年、2億300万円いる。財政的に難しい。

**問** がん検診受診率向上のために自己負担軽減できないか。

**答** できるだけ少ない負担で検診できるように努めている。

**問** 加齢性難聴者の為に補聴器への支援はできないか。

**答** もう少し検討が必要かと思っている。

**問** 地域経済変動対策資金(ゼロゼロ資金)の返済が始まる。この資金を別枠融資として他の資金を借りられるようにできないか。

**答** 新たな制度等について研究をしていきたい。





# 【議案に対する質疑】

執行部から提出された議案に対し、各議員が質疑を行いました。  
※自らが所属する常任委員会の所管事項については、本会議での質疑は原則控えることとなっています。



市議会提出議案

議員名	通告	担当部局
鳥飼 幹男	<b>R04 水道補正</b> 令和4年度倉吉市水道事業会計補正予算(第1号) 【収入】水道料金について	上下水道局
藤井 隆弘	<b>R04 一般補正</b> 企業誘致	生活産業部
	<b>R04 一般補正</b> 小学校運営(総務)	教育委員会
福井 康夫	<b>職員定例条例</b> 倉吉市職員の定年等に関する条例の一部改正について	総務部
	<b>条例の整備</b> 倉吉市職員の定年等に関する条例の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	総務部
米田 勝彦	<b>R04 一般補正</b> 自立支援給付事業	健康福祉部
	<b>R04 一般補正</b> 衛生総務	生活産業部
田村 閑美	<b>R04 一般補正</b> 自立支援給付事業	健康福祉部
	<b>無償譲渡</b> 財産の無償譲渡及び無償貸付けについて(上井保育園)	健康福祉部
	<b>無償譲渡</b> 財産の無償譲渡及び無償貸付けについて(旧倉吉西保育園)	健康福祉部
	<b>R04 一般補正</b> 債務負担行為補正(公用自動車賃借料(令和4年度契約))	総務部
福井 典子	<b>R04 一般補正</b> 観光施設維持管理事業	生活産業部
大月 悦子	<b>R04 一般補正</b> 衛生総務	生活産業部
	<b>R04 一般補正</b> 企業誘致	生活産業部
	<b>R04 一般補正</b> コーディネート機能強化事業	健康福祉部
	<b>R04 一般補正</b> 債務負担行為補正(公用自動車賃借料(令和4年度契約))	総務部
大津 昌克	<b>R04 一般補正</b> 債務負担行為補正(公用自動車賃借料(令和4年度契約))	総務部
笠原 晶子	<b>R04 一般補正</b> コーディネート機能強化事業	健康福祉部
朝日 等治	<b>R04 一般補正</b> 衛生総務	生活産業部
	<b>R04 一般補正</b> 債務負担行為補正(博物館特別展開催負担金)	教育委員会
山根 健資	<b>R04 一般補正</b> 災害等対策緊急資金(新型コロナウイルス感染症対策)	生活産業部
	<b>R04 一般補正</b> 衛生総務	生活産業部

- R04 一般補正** … 議案第63号令和4年度倉吉市一般会計補正予算(第8号)
- R04 水道補正** … 議案第67号倉吉市水道事業会計補正予算(第1号)
- 職員定例条例** … 議案第72号倉吉市職員の定年等に関する条例の一部改正について
- 条例の整備** … 議案第73号倉吉市職員の定年等に関する条例の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- 無償譲渡** … 議案第75号財産の無償譲渡及び無償貸付けについて(上井保育園)
- 無償譲渡** … 議案第76号財産の無償譲渡及び無償貸付けについて(旧倉吉西保育園)

## 主な質疑・答弁

### 衛生総務

補正前	32万4千円
補正額	100万円

エネルギーの地産地消による地域経済の活性化、脱炭素社会を推進するため、県中部の企業等で設立した地域エネルギー会社(株)鳥取みらい電力への出資金について、補正するもの。

### Q(株)鳥取みらい電力への出資金100万円について

**A** 倉吉市は2050年カーボンニュートラル(二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す)脱炭素社会の実現を目指している。来年4月の開始に向けて事業の準備が進んでいる。エネルギーの地産地消、地域経済の活性化、小売電気事業、仲介取次、再生エネルギーを活用した発電事業を計画。事業の取組に賛同して出資を行う。増資の





**【質疑とは？】**

市長から提案された議案に対し、賛否の態度決定が可能になるよう、疑問や不明確な点を問う発言をいいます。自己の意見を述べることはできません。倉吉市議会では、質疑回数は1議題5回までとなっています。

**Q** 委託料42,338千円についての事業の内容の説明を求めらる。

新たに貸し工場を整備して行くために必要な費用を補正するもの。企業立地促進補助金について令和4年度未現在の決算見込により、増額補正を行うもの。

補正前	1億4,289万9千円
補正額	7,343万8千円

**企業誘致**

計画は無い。配当金の予定も無い。出資構成メンバーとして中部の民間4社2,500万円（決定）、北栄町100万円（決定）、琴浦町100万円（決定）、そして倉吉市100万円（予定）合計2,800万円。湯梨浜町は、検討中。三朝町は、出資を考えていない。倉吉市が買う電力の価格は、事業実施の中で具体的に提示される予定。

**A** 倉吉市所有の土地に貸し工場として、倉吉市でフィギュアなどの製造を手がける「グッズマイルカンパニー」（本社・東京都）が倉吉市河北町に第2工場を新設するための実施設計業務委託料。

**Q** 開設までの工程は。

**A** 2024年12月完成、2025

年春の操業を目標。

**Q** 雇用の計画は。

**A** 初年度は100名でのスタートを目指す。

**Q** 負担金補助及び交付金

31,100千円の補助をする企業名は。

**A** 株式会社モリタ製作所

**コーディネート機能強化事業**

補正前	0円
補正額	160万円

市内の障がい児が円滑に障がい福祉サービスを利用できる環境を整えるため、社会福祉法人等が運営する相談支援事業所に新規または追加で相談支援専門員を配置した場合に補助金を交付するもの。

業所に新規または追加で相談支援専門員を配置した場合に補助金を交付するもの。

**Q** 事業に対しての支給か、支援専門員に対しての支給か。

**A** 11月現在で相談支援事業所は中部全体で9事業ある。市内に7事業、湯梨浜町に2事業ある。

7事業所の内1事業所が10月に開設され、相談員を配置したので補助金を活用したい旨の予算。相談事業所の運営に係る経費（人件費の一部）として事業に対して支給する。

**Q** 負担金の60万円とは

**A** 湯梨浜町の事業所に交付する補助金をサービスの利用があった市町で按分したものを。

**Q** 決定したらすぐホームページで公開していただきたい。

**A** 事業所の一覧として掲載し、チラシも作って配布する。

**出産子育て応援給付金給付事業**

補正前	0円
補正額	6,251万1千円

子育て世帯包括支援センターにおいて実施している妊娠から出産・子育て期までの切れ目ない伴走型相談支援に加え、出産・子育てへの経済支援として給付金を支給するもの。

**Q** 事業開始はいつからか。

**A** 令和5年1月からの予定

**Q** 事業開始から令和5年9月30日までに出生届出を行った子育て家庭、令和4年4月1日から事業開始までに出生届出を行った子育て家庭に5万円の給付金を支給だが、子どもの数に対してか、双子出産ならどうか。

**A** 子ども1人に対して5万円の給付なので双子であれば10万円の給付になる。

**Q** 妊娠届出を行う前に流産した場合、支援対象になるか。

**A** 妊娠届出を行っていないと、支給の対象にならない。

**Q** 妊娠届出を行う前に流産した場合、支援対象になるか。

**A** 妊娠届出を行っていないと、支給の対象にならない。



# 新校名は『成徳小学校』に決定

倉吉市の2つの小学校が統合して令和5年4月に開校する新しい小学校名については、一度は「至誠小学校」に決定していましたが、その後の住民直接請求を受けた市長から12月定例会に改正条例の廃止が提案されました。提案された廃止案は可決され、校名を含めた統合については一旦白紙となりました。

その後、令和5年1月17日に開催された臨時会に「打吹至誠小学校」とする案が提案されましたが、2人の議員からそれぞれ修正案が提出され、採決の結果「成徳小学校」とする案が賛成多数で可決されました。

新校名の決定経過を時系列にまとめ、ご説明いたします。

令和4年12月9日	新校名の再考を求める住民直接請求の会が4,815筆の署名簿とともに広田市長に対し、改正条例の廃止を求めて直接請求した。
12月15日	<b>議会運営委員会で追加議案の協議</b> <b>議案第84号 倉吉市立小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例の廃止について</b> 12月定例会最終日に上程し、会期を延長して審議入りする 請求代表者の意見を述べる機会について 2人以内で30分以内 一括質疑（執行部、意見陳述者に対して）、議員1人8回以内で30分以内 委員会付託は省略 資料配布やパネルの使用は可能
12月19日	<b>12月定例会本会議</b> ・意見を述べる機会の付与人数を可決・会期の延長（22日まで）を可決 ・「議案第84号 倉吉市立小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例の廃止について」が上程され、広田市長が提案理由を説明
12月21日	<b>12月定例会本会議</b> ・意見陳述、付議議案に対する質疑（詳細は倉吉市議会会議録を参照） ・11人の議員が質疑を行う
12月22日	・討論 賛成討論 大月悦子、藤井隆弘、大津昌克、米田勝彦、佐藤博英、田村閑美、丸田克孝、福井典子 反対討論 福井康夫、鳥羽昌明、山根健資、朝日等治、鳥飼幹男 福井康夫議員より休憩の要求あり暫時休憩 ・再開後、議案第84号 倉吉市立小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例の廃止について採決 <b>賛成 13人 反対 2人 結果 原案とおり可決した。</b> ※議員個人の賛否の内訳は議会だよりP14 令和4年12月定例会 議案等の議決結果をご覧ください。
12月26日	倉吉市の2つの小学校を統合してできる新しい小学校の名前を「至誠小」とする条例が市議会で廃止されたことを受け、統合準備委員会が12月26日夜に開かれ、新しい学校名が「打吹至誠小学校」に決定された。

令和5年1月17日

### 1月臨時会本会議

- ・ 広田市長が「議案第1号 倉吉市立小学校及び中学校設置条例の一部改正について」提案理由の説明
- ・ 付議議案に対する質疑（詳細は倉吉市議会会議録を参照）  
4人の議員が質疑を行う
  - ①「打吹至誠小学校」→「打吹小学校」とする修正案を佐藤議員が提出  
議会運営委員会で佐藤議員提出の修正動議について協議し、日程追加を決定
    - ・ 佐藤議員から提案理由の説明
    - ・ 討論 賛成討論 田村閑美
  - ②「打吹至誠小学校」→「成徳小学校」とする修正案を藤井議員が提出  
議会運営委員会で藤井議員提出の修正動議について協議し、日程追加を決定
    - ・ 藤井議員から提案理由の説明
    - ・ 質疑 鳥飼議員が藤井議員へ
    - ・ 討論 修正案に反対討論 福井康夫  
原案に賛成討論 鳥飼幹男  
修正案に賛成討論 山根健資
- ・ 採決 佐藤議員から提出された修正案は賛成少数で否決  
賛成 2人 反対 13人
- ・ 採決 藤井議員から提出された修正案は賛成多数で可決  
賛成 8人 反対 7人
- ・ 採決 可決された修正案の修正部分を除く原案は賛成多数で可決  
賛成 8人 反対 7人
- ③議案第1号 倉吉市立小学校及び中学校設置条例の一部改正についてに対する附帯決議案を大月議員が提出

#### (附帯決議事項)

1. 小学校統合による新学校名決定に係る条例改正については、議会及び市民に対してその決定過程に関する情報公開が不十分だったと言わざるを得ない。今後は、逐次積極的に情報公開を行うとともに、疑念を抱かれることのないよう説明責任を果たされたい。過去のものについても同様に扱われるよう検討を望む。
2. 今後の条例改正にあたっては、私的諮問機関のあり方について定義し、附属機関との違いを明確にしたうえで事務を執行すること。
  - ・ 大月議員が、提案理由の説明
  - ・ 採決 大月議員から提出された附帯決議は賛成多数で可決

賛成 10人  
反対 5人

※議員個人の賛否の内訳は議会だよりP15 令和5年1月臨時会 議案等の採決結果をご覧ください。

※1月臨時会は議場が工事で使えない為、大会議室で行われました。





# 【常任委員会】

## 【常任委員会とは?】

所管する部門の事務に関する調査を行ったり、付託を受けた議案や請願などを審査します。行政の事務は多岐にわたり、かつ専門的であるため、合理的・能率的に調査・審査するよう部門別の委員会を設け、分科的に調査・審査します。

## 教育福祉常任委員会

委員	鳥羽 昌明 委員長
	山根 健資 副委員長
	伊藤 正三 委員
	大津 昌克 委員
	佐藤 博英 委員
	福井 典子 委員
所管	健康福祉部、教育委員会

教育福祉常任委員会には議案8件、請願1件、陳情1件が付託され、委員会審査が行われました。

議案第63号の審査では、給食センターの燃油高騰に伴う補正に関連して、牛乳や小麦などの食料費の値上げの現状や今後の見通しと共に、現時点では保護者負担を上げないよう対応していきたいとの説明がありました。

請願第3号について、執行部からは、市内小・中学校のプールの老朽化の現状や今後の維持管理や建て替えの在り方について検討の必要性とともに、一部学校のプールの廃止や集約化な

どが決定されているものではなく、学校との調整・協議をしている段階であるとの説明がありました。これに対し委員からは、あくまで廃止を前提とした協議を行わないことと現場教員や生徒・保護者の意見を取り入れることを求めるのが請願の趣旨ではないかとの意見が交わされました。

提出議案以外では、北谷小学校と高城小学校の統合および、小鴨小学校と上小鴨小学校の統合について、執行部から経過報告がありました。

### 審査の結果

付託された議案は全て可決されました。請願第3号および陳情第20号については全会一致で採択となりました。

なお、執行部に対し、将来、市民の大きな関心や議論を呼ぶことが予想される案件については、常任委員会へ可能な限り早期に報告を求めるとする意見を委員長報告に付すことを決定しました。

## 総務建設常任委員会

委員	米田 彦子 委員長
	笠原 晶子 副委員長
	朝日 等治 委員
	大月 悦子 委員
	福谷 直美 委員
	藤井 隆弘 委員
所管	総務部、建設部、会計課、上下水道局、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会

総務建設常任委員会には令和4年度議案の内、総務部関係10件、上下水道局関係6件、建設部関係1件が付託され、委員会審査が行われました。

○総務部関係  
議案第63号では庁舎管理費で電気代の削減について質問が出ました。執行部の考えは、照明のLED化、暖房では、時間外勤務の削減、暖房設定温度を緩める、着る物の工夫等で節電したいということでした。

### ○上下水道局関係

議案第78・79・80号では、水道事業と下水道事業は分けたらどうか、と意見が出ました。執行部の考えは、下水道事業しか起債が使えないので、上下水を一緒にすることでメリットがある。大きな治水事業は建設部と情報を共有して取り組んでいるという説明でした。

### ○建設部関係

令和3年災害の復旧工事費の繰越理由について聞きました。執行部の説明は、工程の調整、国の査定待ち、業者の数が足りない等の説明を受け審査しました。

### 審査の結果

付託されました議案は全て全員一致で可決されました。

## 生活産業常任委員会

委員

福井 康夫 委員長  
鳥飼 幹男 副委員長  
田村 閑美 委員  
丸田 克孝 委員

所管

生活産業部、農業委員会

生活産業常任委員会には、2件の議案が付託され、12月14日に委員会審査が行われました。補正予算では、新規事業として地域エネルギー会社「鳥取みらい電力」への出資金100万円。合併処理浄化槽への設置補助金の増額188万円。企業誘致として新たに貸工場の整備等で、7,343万円。また、商工観光のコロナ対策として資金の借入れの利子補助金を増額、1,286万円。農林関係予算では、産地生

産基盤パワーアップ事業として「倉吉西瓜選果場機械設備」を更新するため、4億円の補正。また、養殖用配合飼料の高騰対策として県と協調して飼料の購入費補助金、111万円などの説明がありました。

### 審査の結果

付託されました議案はいずれも、可決されました。

### 報告事項

グリーンスコレせきがね再生事業の進捗と事業説明会の計画、また3月議会への条例案の提案などのスケジュールが報告されました。また、周遊滞在型観光地モビリティ向上計画策定業務の進捗についても報告されました。

## 【特別委員会】

### 【特別委員会とは？】

臨時的に特別な問題について審査または調査を必要とする場合に設置されます。

## 議会改革推進特別委員会

委員

藤井隆弘委員長、大津昌克副委員長、朝日等治委員、大月悦子委員、笠原晶子委員、鳥羽昌明委員、山根健資委員

付託された次の4事項について調査・検討を進め、令和4年12月26日現在で22回の委員会を開催しています。

- ①議会基本条例案の作成：倉吉市議会基本条例（素案）に係る意見募集を行い、いただいたご意見について委員会で検討、回答を公表しました。条文の内容については、いただいたご意見を参考にさらに委員会で推敲し、策定に向けて協議してまいります。
- ②議会BCP案の作成：倉吉市議会BCP（案）がほぼ完成、最終的な確認を行っています。
- ③議会のタブレット導入・運用：議員の操作研修を終了、12月定例会常任委員会で試行的に使用しました。
- ④議員定数：他類似市との比較、常任委員会の持ち方と適正定数等様々な角度から検討を行っています。





# 【議案等の議決結果】

12月定例会に提出された議案等のうち、賛否が分かれた案件は、議案の2件でした。

議員個人の表決は以下のとおりです。なお、表に掲載していない議案等は、「起立全員」、「異議なし」で可決しました。



議決結果

【会派名】

〓：くらよし

公・新：公明党 改革新政会市議団

さ：さきがけ

共：日本共産党

こ：こころ

## 賛否の内訳

議案番号	件名	議案に対する賛否																賛成	反対	議決結果
		藤井隆弘	丸田克孝	大津昌克	大月悦子	福谷直美	鳥飼幹夫	福井康夫	鳥羽昌明	笠原晶子	伊藤正三	朝日等治	米田勝彦	山根健資	福井典子	佐藤博英	田村関美			
議案第81号	特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	13	2	原案可決
議案第84号	倉吉市立小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例の廃止について	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	13	2	原案可決

【凡例】 ○賛成、×反対、※退席・除斥・欠席、一議長のため表決に加わらず

## 請願・陳情の結果

番号	件名	委員長報告(付託委員会)	委員長報告に対する賛否																賛成	反対	議決結果					
			藤井隆弘	丸田克孝	大津昌克	大月悦子	福谷直美	鳥飼幹夫	福井康夫	鳥羽昌明	笠原晶子	伊藤正三	朝日等治	米田勝彦	山根健資	福井典子	佐藤博英	田村関美								
請願第3号	倉吉市小・中学校プール廃止の中止を求める請願	採択	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0	採択			
陳情第20号	子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書提出について	採択	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0	採択

【凡例】 ○賛成、×反対、※退席・除斥・欠席、一議長のため表決に加わらず  
※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成は「○」、反対は「×」と記載しています。

## 議場のコロナ対策とバリアフリー化

### コロナ対策

- ・議場の議員席、執行部席に抗菌カバーを設置しました。
- ・マイクを増設し、1つのマイクを複数人で使用しないようにしました。
- ・傍聴席にアクリル板を設置しました。

### バリアフリー化

- ・電源やケーブルの配線類を床下に収納しました。(OAフロア)
- ・手すりを設置しました。



【臨時会とは？】

突発的事情などにより、次の定例会の開催を待つことができない場合、特定の事件に限ってこれを審議するために臨時招集される議会のことをいいます。

【会派名】<br><…><br>く…らよし<br>公・新…公明党・改革新政会市議団<br>さ…さきがけ<br>共…日本共産党<br>こ…こころ

賛否の内訳

議案番号	件名	議案に対する賛否														賛成	反対	議決結果	
		藤井隆弘	丸田克孝	大津昌克	大月悦子	福谷直美	福銅幹夫	鳥羽康夫	鳥羽昌明	笠原晶子	伊藤正三	朝日等治	米田勝彦	山根健資	福井典子				佐藤博英
議案第1号	倉吉市立小学校及び中学校設置条例の一部改正について	○	○	○	○	-	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	8	7	修正可決
	議案第1号 倉吉市立小学校及び中学校設置条例の一部改正についてに対する修正動議（提出者 佐藤議員）	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	2	13	否決
	議案第1号 倉吉市立小学校及び中学校設置条例の一部改正についてに対する修正動議（提出者 藤井議員）	○	○	○	○	-	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	8	7	可決
議案第2号	市道の路線の認定について	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0	原案可決
議案第3号	事業契約の締結について	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0	原案可決
	議案第1号 倉吉市立小学校及び中学校設置条例の一部改正についてに対する附帯決議	○	○	○	○	-	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	10	5	原案可決

凡例 ○賛成、 ×反対、 ※退席・除斥・欠席、 -議長のため表決に加わらず

あなたの写真で  
表紙を飾ろう！

議会だよりの表紙写真を募集します

倉吉市内で撮影された季節が感じられる写真で、市を紹介できる作品を募集しています。  
詳細は倉吉市議会ホームページをご覧ください。

【応募先】〒682-8611 倉吉市葵町722 倉吉市議会事務局  
電子メール:gikai@city.kurayoshi.lg.jp  
https://www.city.kurayoshi.lg.jp/gyousei/div/gikai/e123/m108/



本会議、委員会などを傍聴する方へのお願い

傍聴にお越しの際には、次のことにご留意ください。



傍聴前の検温をお願いします。



傍聴人受付簿へ記入をお願いします。



マスクを着用してください。



隣の人と  
1メートル以上離れて  
座るようにしてください。



入場前の手洗いと、入場時のアルコール消毒を徹底してください。



なお、本会議についてはケーブルテレビ放送(日本海ケーブルネットワーク・121ch)を行っていますのでご活用ください。



# 市民の こえ 声



第31期打吹童子ばやし  
保護者会副会長  
いちばいくよ  
市場育代さん

## 令和5年 3月 倉吉市議会定例会

【会 期】 3月6日(月)～3月22日(水)

### 【会議日程】

月日	曜日	会議区分	時間	内容	
3月6日	月	本会議	午前10時	議案の上程、提案理由の説明	
7日	火	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	
8日	水	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	
9日	木	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	
10日	金			予備日	
11日	土			休会	
12日	日			休会	
13日	月	本会議	午前10時	付議議案に対する質疑～	
14日	火	本会議	午前10時	付議議案に対する質疑～ 委員会付託	
15日	水	委員会		常任委員会(予定)	
16日	木	委員会		常任委員会(予定)	
17日	金			予備日	
18日	土			休会	
19日	日			休会	
20日	月			議事整理日	
21日	火			休会	
22日	水	本会議	午前10時	委員長報告～ 付議議案の討論・採決	

…ケーブルテレビ放送あり …手話通訳あり  
※録画放送は開催日の午後7時から。

倉吉市議会の情報は、ホームページでもご覧いただけます。  
会議予定、議長日程、議員名簿、市議会だより、会議録などを掲載しています。

倉吉市議会

検索



### 編集 後記

校名選定問題に思います。価値観が多様化する中で、一つの事を皆で合意形成を諮りながら決める事は難しくなっていると感ずます。皆がそれぞれ違うのだから、それを尊重しようという流れは素晴らしい事であります。ここ倉吉で起こっている校名問題は、世代間で、この問題に対する捉え方の温度差も顕著に違うと感ずます。働き盛りの世代は、その様な事を自分ごとに捉えて考える時間の余裕は、あまり無いのが現状では無いでしょうか？そしてその現実から向き合わないといけないのも働き盛りの世代なのです。夏目漱石の名言に「智に働けば角が立つ情に掉させば流される意地を通せば窮屈だとかくに、人の世は住みにくい。」「草枕」冒頭に出てくる名句である。人づきあいの難しさを説いたもの。「世間の人とつきあうときには、頭のいいところが見えずきりと嫌われる。あまりにも情が深いとそれに流されてしまう。また自分の意見を強く押し出すと、衝突することも多く世間を狭くする。人づきあいというのは、智と情と意地のバランスを上手にとらなければならず、なかなか困難なことだ、というのである。」

(編集委員 山根 健資)

議会だより「白壁」の  
ご意見・ご感想はこちら ▶



### —コロナ禍による活動の影響は

コロナ禍で3年の間、地域のお祭りなどがごとと中止になり、子どもたちの演奏機会がなくなってしまいました。コロナ感染拡大の影響で、週1回の練習会が、長期間休止もありました。それでも「演奏がしたい」という子どもたちの思いを大切に、感染対策を意識してできる自主企画での演奏会や高齢者施設への慰問演奏会をしてきました。去年は、倉吉せきがね里見まつり、倉吉ばえん祭など地域のイベントでの演奏ができました。誰かに喜んでいただけることが太鼓を通しての喜びです。地域での演奏活動が思い切ってできなかった影響は団員の育成、団員募集にも大きく影響してしまいました。

### —国民文化祭おきなわに参加して(表紙参照)

11月6日名護市民会館で開催された国民文化祭おきなわ「太鼓の祭典」に、打吹童子ばやしグループの和太鼓LEGEND(中高生)と童子ばやし(小学生)で出演者21名、スタッフ19名が参加しました。太鼓も沖縄までスタッフがトラックで運びました。本番では堂々と「鼓魂組曲2022おきなわ(打吹童子ばやしのオリジナル曲を組曲にしたもの)」を演奏することができました。会場からは大きな拍手と沖縄特有の指笛での声援もいただきました。演奏後は他県の演奏も鑑賞し、子どもたちはとても良い刺激や次につなげる何かを学んだように思います。

また、本番前日のリハーサルや本番当日の合間に、2カ所の施設慰問に出かけ高齢者の方々、地域の皆様にも演奏を聴いていただきました。慰問した施設もコロナの影響で祭りが3年間できなかったそうです。私たちの演奏を聴いて涙を流して喜んでくださること、演奏依頼があることがメンバーの活力になっていると改めて感じました。今年は、子どもたちが活動を自粛することなく練習や県外の遠征に沢山参加できることを願っています。

### —市や市議会に望むこと

伝統芸能の保存、育成のための活動ができる環境整備を行ってほしいです。また、子育てしやすい郷土の繁栄と子どもたちの未来のための企画を推し進めていただきたいです。